

平成30年3月期第2四半期 決算補足説明資料

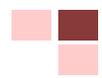


2017年11月9日

スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

株式会社 **昭和真空**

証券コード：6384 東証JASDAQ



第 2 四半期決算概況

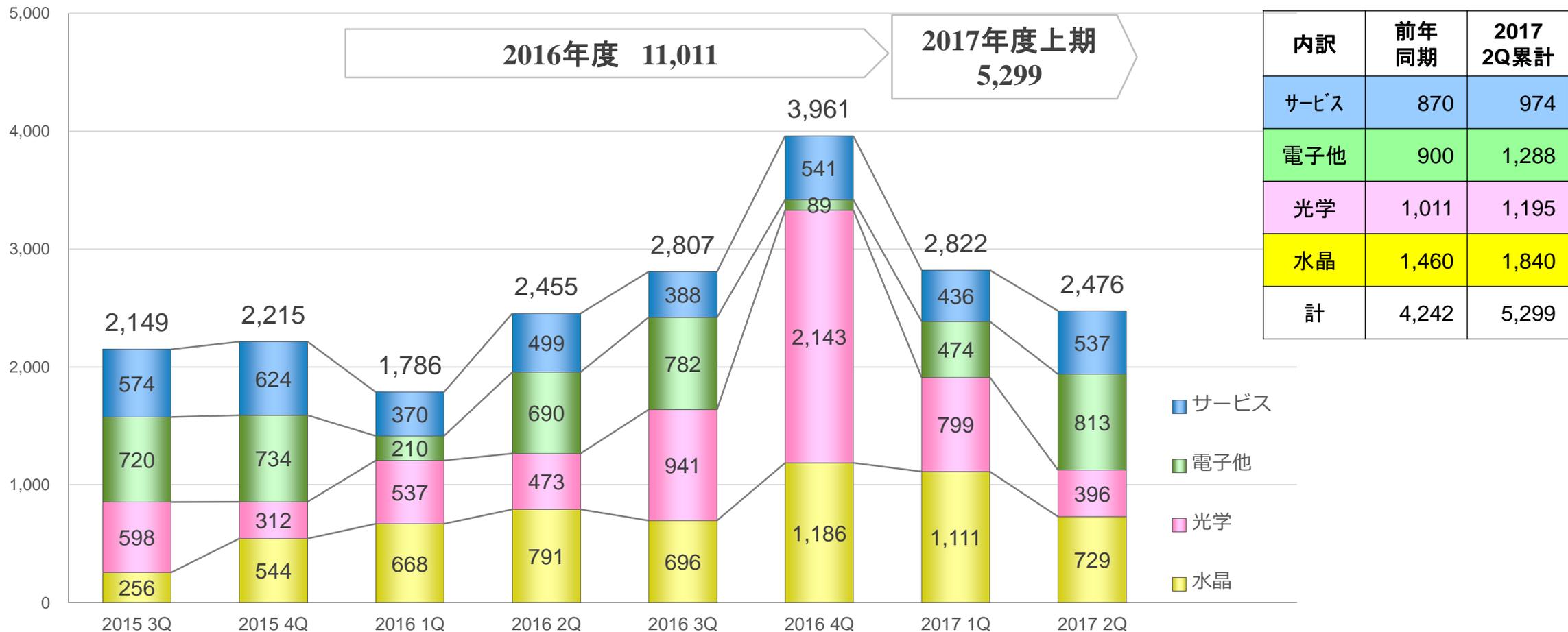


第2四半期経営成績の概況 (連結)

(百万円)	2016年度		2017年度			
	2 Q 実績		2 Q 実績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	4,242	—	5,299	—	1,056	24.9%
売上高	4,447	100.0%	5,975	100.0%	1,528	34.4%
売上総利益	1,363	30.7%	1,820	30.5%	457	33.6%
販管費	763	17.2%	899	15.1%	136	17.9%
営業利益	599	13.5%	921	15.4%	321	53.6%
経常利益	514	11.6%	917	15.4%	403	78.4%
当期純利益	426	9.6%	756	12.7%	330	77.5%

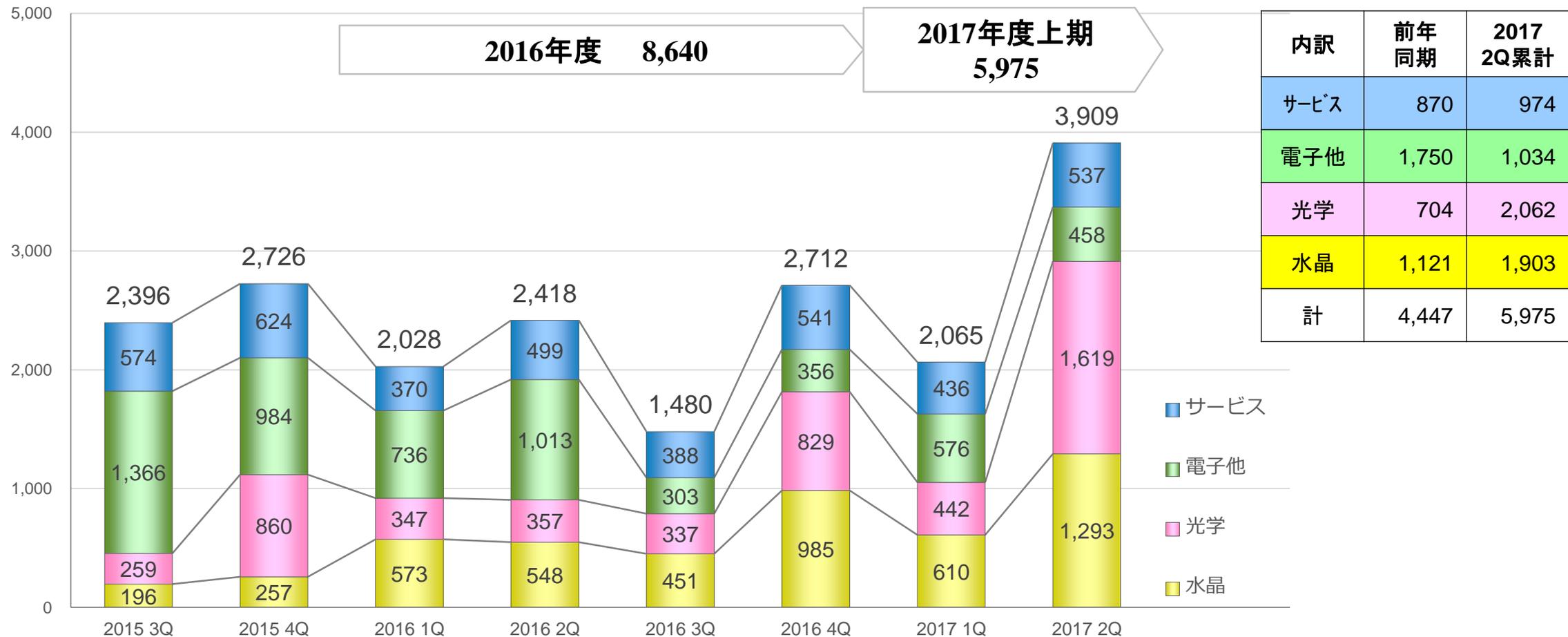
受注高品目別推移 (四半期、連結)

(単位：百万円)

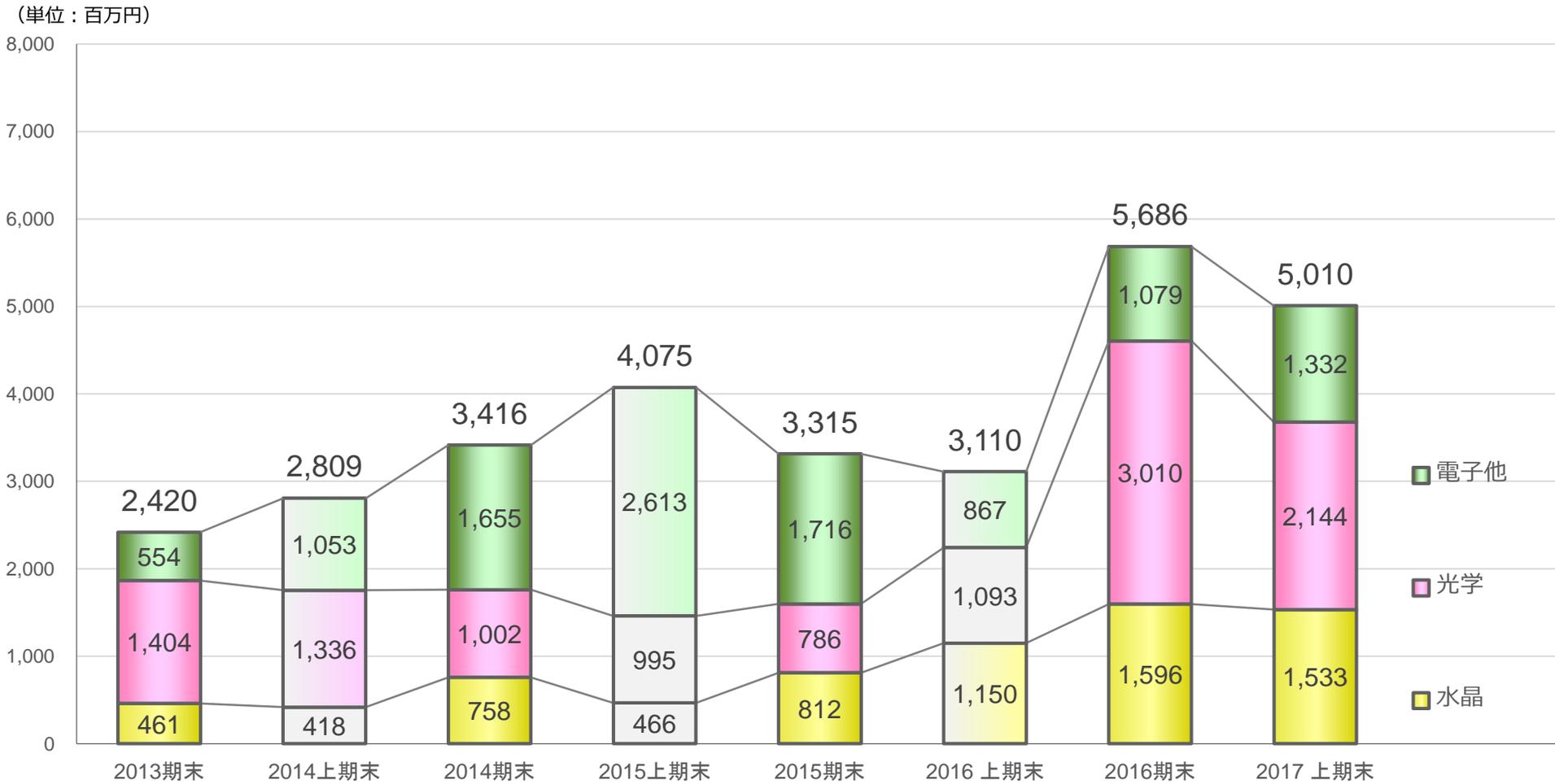


売上高品目別推移 (四半期、連結)

(単位：百万円)

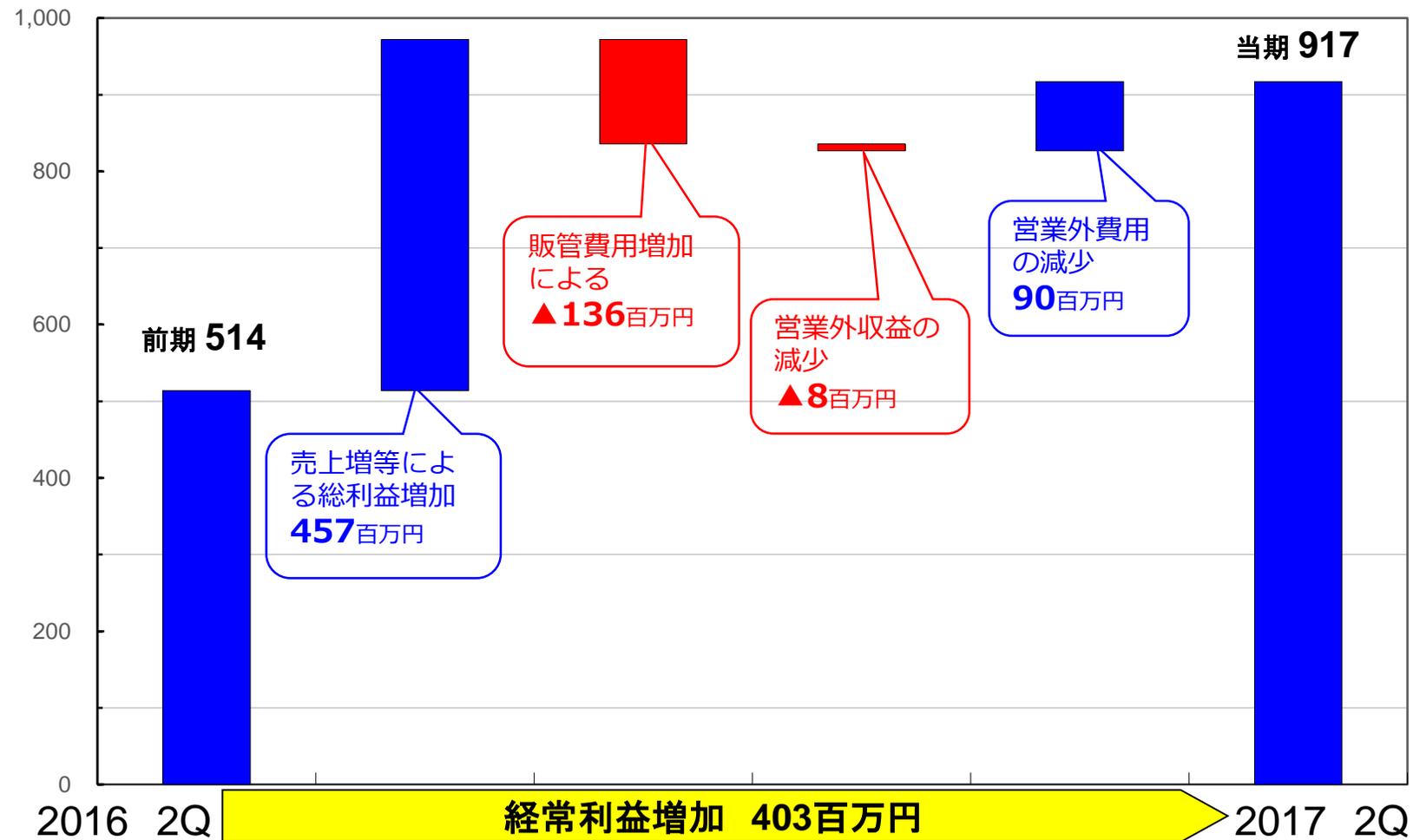


受注残品目別推移 (連結)

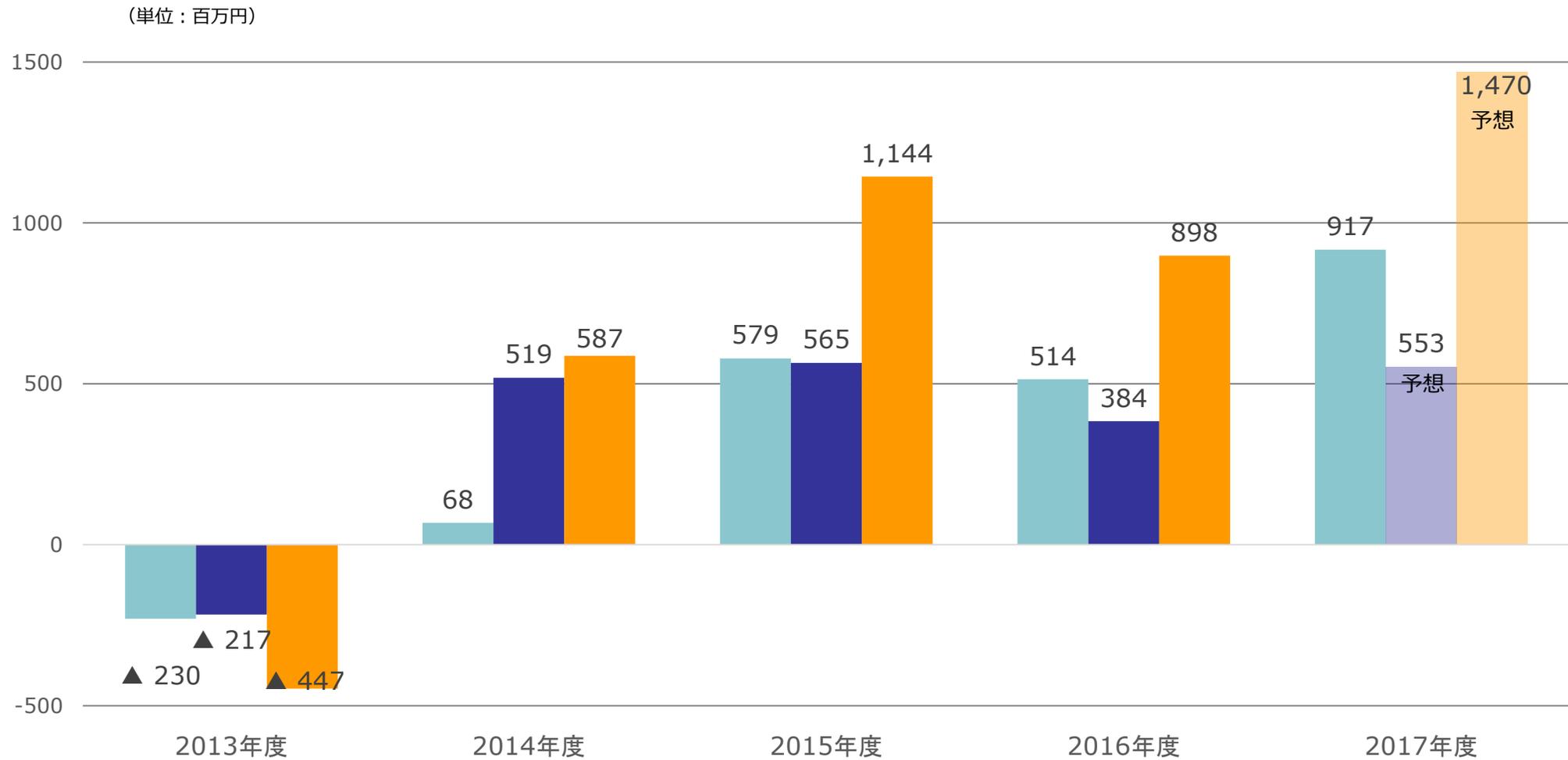


経常利益の増減要因分析

(単位：百万円)

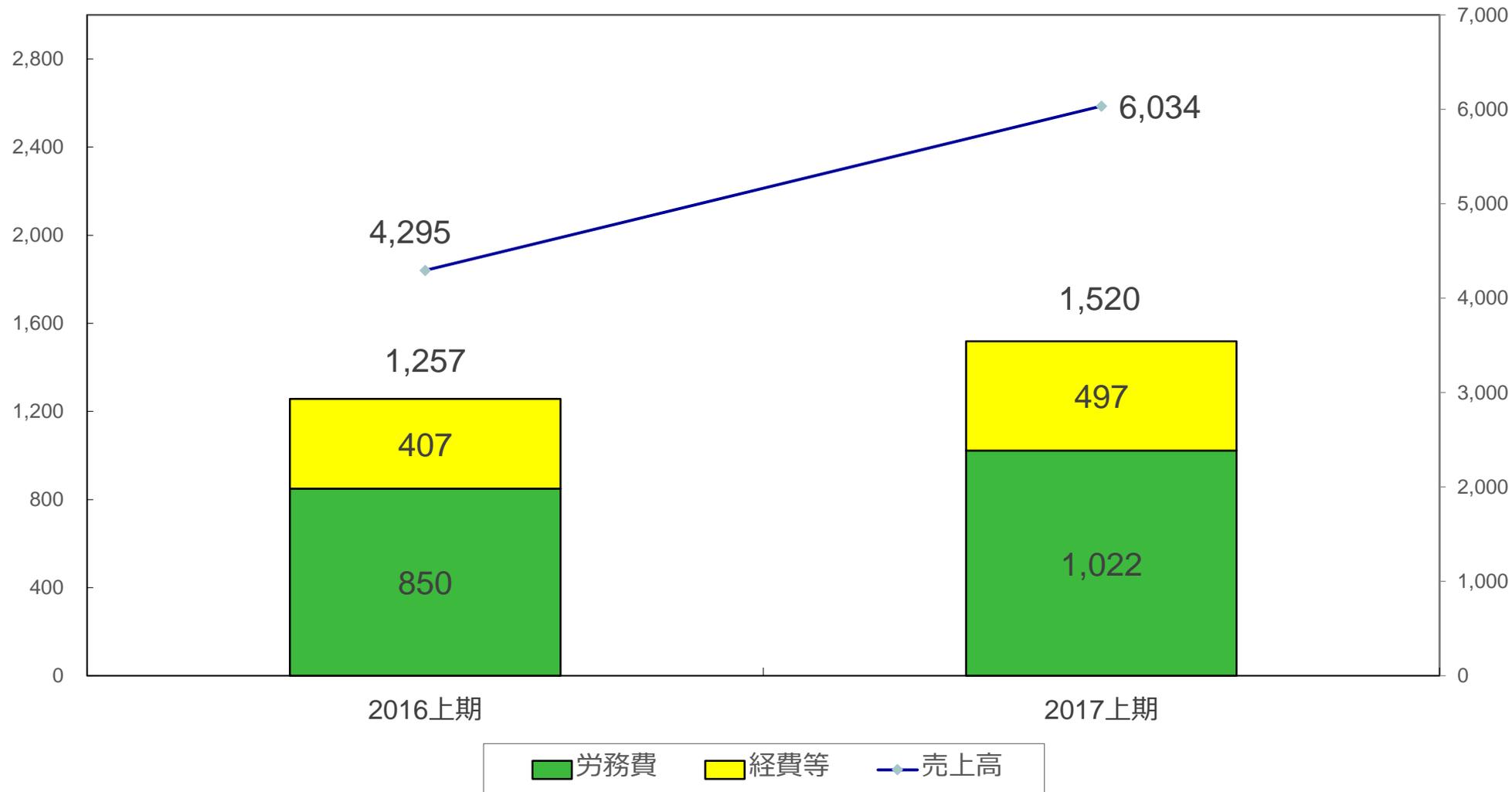


経常利益の推移 (連結)



固定費及び売上の推移 (単体)

(単位：百万円)



貸借対照表 (連結)



(単位：百万円)

	2016期末	2017 2Q末	増減額	主な増減要因
資産合計	11,787	13,997	2,210	
流動資産	8,661	10,841	2,180	受取手形及び売掛金 2,389 現金及び預金 ▲1,524 仕掛品 927
固定資産	3,126	3,155	29	
負債合計	4,494	6,156	1,662	
流動負債	3,393	5,027	1,634	電子記録債務 674 未払法人税等 282 前受金 589
固定負債	1,101	1,128	27	
純資産合計	7,292	7,840	548	

借入依存度 4.4% 自己資本比率 56.0% 固定比率 40.2%

キャッシュ・フロー計算書 (連結)



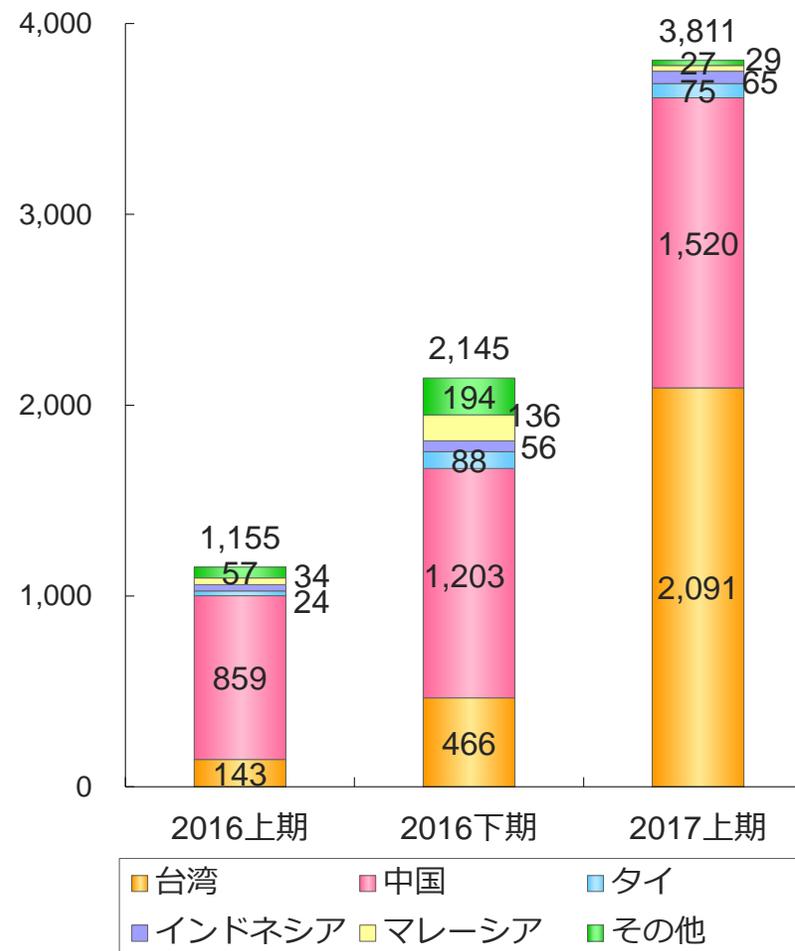
(単位：百万円)

	2016 2Q	2017 2Q	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	55	▲1,235	税金等調整前四半期純利益 917 売上債権の増加 ▲2,393 棚卸資産の増加 ▲960 支払債務の増加 679
投資活動によるキャッシュフロー	▲62	▲23	有形固定資産の取得 ▲19 無形固定資産の取得 ▲2
財務活動によるキャッシュフロー	▲765	▲256	配当金の支払 ▲245
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲87	▲10	
現金及び現金同等物の増減額	▲860	▲1,525	
現金及び現金同等物の期首残高	4,085	3,645	
現金及び現金同等物の期末残高	3,225	2,119	

輸出先国別売上高推移 (単体)

(単位：百万円)

	2016 上期	2016 下期	2017 上期
台湾	143	466	2,091
中国	859	1,203	1,520
タイ	24	88	75
インドネシア	34	56	65
マレーシア	35	136	29
その他	57	194	27
合計	1,155	2,145	3,811
輸出割合	26.9%	52.4%	63.2%



① 水晶デバイス向け装置を中心に 受注は堅調に推移

② 前期の受注残を着実に納品し 売上は順調に推移

③ 工場稼働率が良好に推移、
品質向上・コストダウンにより利益面は好転

④ 次世代製品向け依頼実験、装置開発に注力

⑤ 既存技術応用分野、新規市場開拓に徐々に成果



業績の見通し及び今後の展望

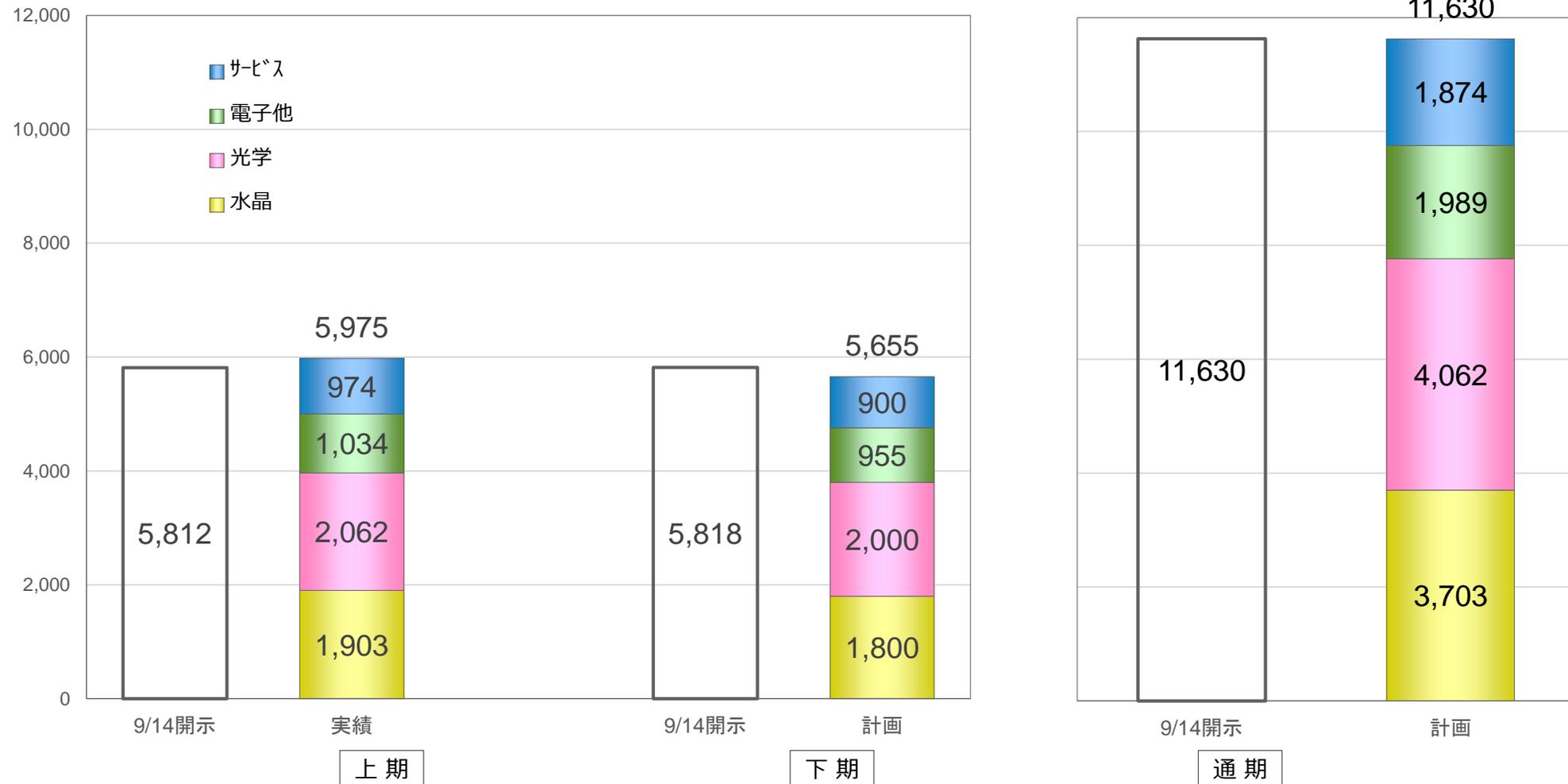
2017年度通期業績予想 (連結)

(百万円)	2017年度			直近 予想 (9/14開示)	前年 実績
	上期実績	下期計画	通期 予想 (今回)		
売上高	5,975	5,655	11,630	11,630	8,640
営業利益	921	555	1,476	1,476	938
経常利益	917	553	1,470	1,470	898
当期純利益	756	371	1,127	1,127	710

※ 今回、通期業績予想の修正はしていません。

上期実績と通期予想 (売上) 連結

(単位：百万円)

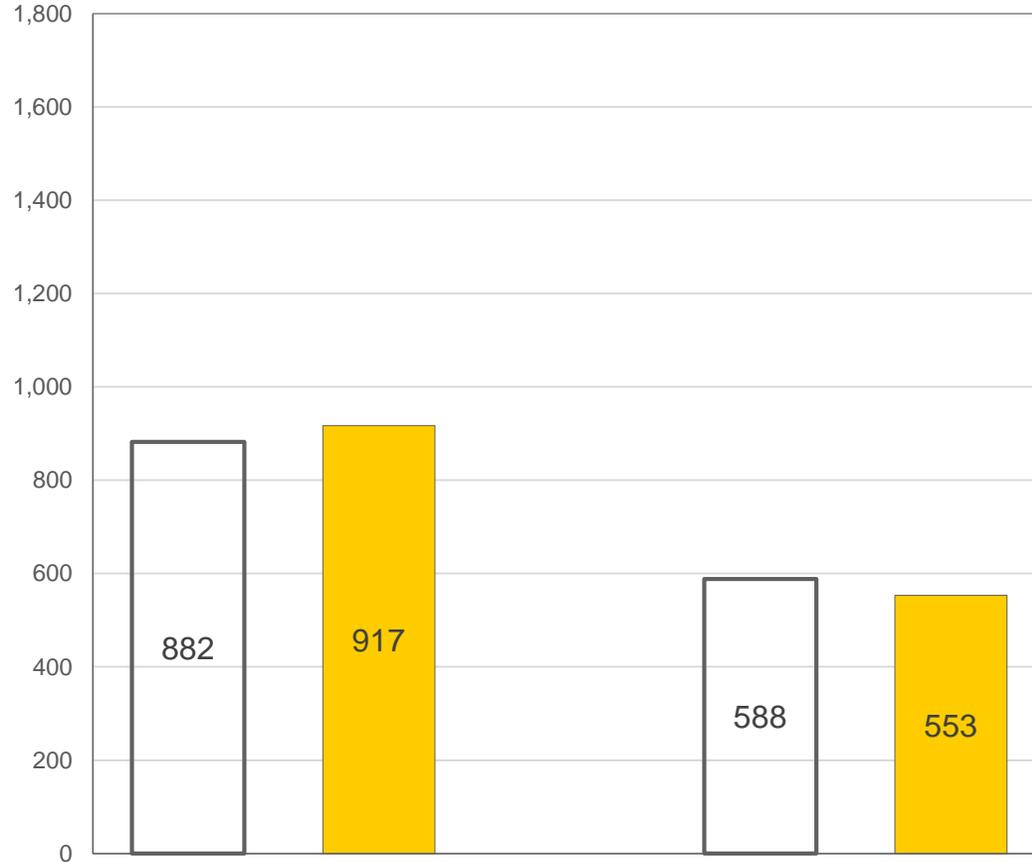


上期実績と通期予想（経常利益）

連結



(単位：百万円)



前回予想
(9/14開示)

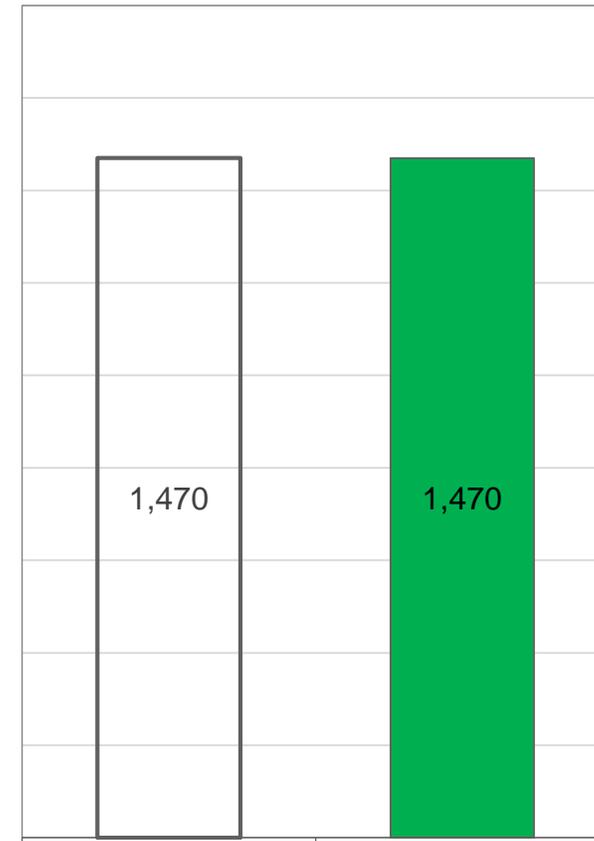
実績

前回予想
(9/14開示)

計画

上期

下期



前回予想
(9/14開示)

計画

通期

2017年度 下期重点実行項目

- ① 水晶デバイス向け次期主力装置の開発
- ② スマートフォンのマイクロカメラレンズ向け成膜装置の拡販
- ③ 顧客との共同開発の実施と成果確認
- ④ 装置の品質向上活動の継続と価格競争力の強化
- ⑤ 納入済み装置に対する改造提案を積極的に推進

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。